

# 令和5年第10回定例会会議録要旨

- ◆ 出席委員 荒木幸一 海老原千浩 山本憲一 陶山光秀 日高まり子
- ◆ 欠席委員 なし
- ◆ 出席職員（事務局） 三好秀敏 垣内圭 尾上光 川添卓哉 鳥原秀紀  
森崎里枝
- ◆ 会議録署名委員指名 海老原千浩
- ◆ 議 案 議案第43号 令和5年度準要保護児童生徒の追加認定について
- ◆ 教育長報告要旨（10月1日～10月31日行事結果）
  - 10月5日（木） 制服検討委員会
  - 10月15日（日） 小学校運動会  
委員の皆様にご参加いただきました。
  - 10月17日（火） スタートカリキュラム検討委員会
  - 10月25日（水）～26日（木） 就学時健診
  - 10月21日（土）～22日（日） 第40回総合町民祭

教育長 私からの報告は以上です。それでは教育委員の皆様から運動会の感想をお願いします。

教育委員 木脇小学校の運動会に参加しました。前日が雨だったので心配したのですが、当日はとても良い天気のもとで開催できて良かったなと思います。子ども達はすごく頑張っていて、リーダーの子をはじめ役員の上級生の動きがすごく良く、テキパキと下級生を指導する姿が印象的でした。白団の団長の女の子が閉会式まで待って、閉会式が終わった後に泣きはじめて、その姿に胸を打たれました。運動会は勝敗がつきもので悔しい想いをすることもあるけど、それまでの過程を頑張ったから悔し涙が出るのかなと、中学校につながる良い経験ができただろうなと思い、そんな子どもの姿が感動的でした。

教育委員 八代小学校の運動会に参加させていただきました。今年の八代小は来賓が多く、区長さんや議員さん、民生児童委員さんなど、ひとつのテントがいっぱいになるくらいでした。校長先生に聞くと、来年からのコミュニティスクールを見据えて、地域の方々に学校を知ってもらうためにこのような形をとりました、ということでした。運動会の内容としては、午前中だけの開催ではありましたが、プログラムをつめれるだ

けいっぱいつめて、校長先生がやりたいことは詰め込んであり、とても濃い内容でした。来年度の新1年生の子ども達の徒競走や、PTAによる地区対抗綱引きも復活しており、保護者も参加できるプログラムでとても良かったと思います。できれば、昼ご飯も食べて午後もあると余裕のあるプログラムが組めて良いのかなと思いました。

教育委員 森永小学校に参加したのですが、天気も良く、元気いっぱいの運動会だったのですが、11時頃から閉会式があって、午前中開催というのは分かるのですが、せめて12時くらいまであっても良いのではないかと思います。先生方の都合などもあるとは思いますが、とても物足りない運動会だなと感じてしまいました。子どもたちが走る距離も短くなったように感じました。走る距離もプログラムも物足りないと感じましたが、その中でも小学生は元気いっぱい思い切り楽しんでいました。

教育委員 本庄小学校に行かせていただきました。子どもの数が少なくなってきているなと感じました。内容はとても充実しており、プログラムを短くしながらも内容を考え、精査されているなと思いました。伝統芸能の樽踊り保存会の方が子ども達の輪の中で一緒に踊るといふ、地域の伝統がプログラムの中に入れてありました。保護者の鑑賞スペースについてですが、コロナ明けでオープンにしたのでどれくらい的人数が来るか分からない部分もあり、全部立ち見で椅子は出さないようになっていました。最前列は、競技する学年の保護者が来るよう交代して見るようになっていました。いかにスムーズに回転させるかというところを考えていたようです。広場に椅子を置いて休憩所のようになっていて、スペースの確保に創意工夫を感じました。子ども達は一生懸命やっていて、6年生のリーダーがすごくしっかりしているなという印象でした。団ごとにまとまった応援ができていて、少ない練習時間の中でよくできていたなと、先生方が細やかな配慮をされて取り組まれたのだと思います。運動会という行事が、学校の中でどういった位置づけなのか、例えばダンスの内容においても、子ども達の身体的発達にのっとった明確な動きの選択がされているのかどうか、そのような点を意識していけば子どもの発達に沿った競技内容になっていくと思います。体育の発表会のひとつとしての位置づけであったり、BGMも学ばせたい体の動きに合わせた音楽を選ぶなど、運動会もただの行事ではなく、明確な教育カリキュラムを作っていく時期にきているのかなと思います。こういう目的のためにこの内容にしていると言える、運動会の意義が学校の教育課程の中でどのように考えられていくかが大切かなと思います。先生方はご苦労されながら子ども達の指導をされたんだろうなと思いながら楽しい1日を過ごすことができました。

教育長 ありがとうございます。他に行事実績について質問等はございませんか。ないようですので、議事に移りたいと思います。

議案第43号「令和5年度準要保護児童生徒の追加認定について」

就学困難な児童及び生徒に係る就学奨励についての国の援助に関する法律に基づき、準要保護

児童生徒を認定するものです。

(資料に基づき説明)

【審議結果のとおり決定】

教育長 それでは続きまして「その他（１）行事予定について」ご説明をお願いします。

◆その他

◇行事予定について 各課行事予定表に基づき説明

教育長 ご質問等はありませんか。次に制服検討委員会についての報告をお願いします。

教育対策監 制服検討委員会は学校の保護者、教職員で構成されていますが、教育委員会が事務局になります。これまでの経緯等についてご説明いたします。性別にかかわらず多様性を認め、人権や個性が尊重される社会づくりを進めるなかで、令和４年３月に国富町の男女共同参画計画が作成されました。そのなかで、子ども達の制服についても自分らしい形の選択ができるように、制服の見直しを行うべきではないかという発言があり、制服検討委員会が立ち上がりました。各小学校の学校長、中学校の生徒指導主事及び教諭代表、各中学校の保護者代表２名の合計１９名により構成されており、昨年度から合わせて５回協議をしております。第１回、２回については昨年度実施分になりますが制服見直しの意見交換を行うなかで、子ども達や保護者の意見を集約し、選択幅を広げるために見直しという方向性を決定したところです。本年度については、実際の仕様について協議を行ってまいりました。性別によって制服が限定されないように選択制を取り入れること、動きやすさや防寒などの機能性を備えたものにする、現在の販売価格を上回らないよう経済性を考慮することの３点をもとに選定したところです。また、制服の型を選択制や機能性を踏まえて、ジャケット、スラックス及びスカート、夏用ポロシャツを採用してはどうか、また経済性を踏まえて、ジャケットの下に着るシャツは白色の襟付き長袖シャツであることのみを指定してはどうかという意見がありました。制服の仕様について委員の方々から様々な意見をいただいたところです。新しい制服の仕様について、制服Ⅰ型はオールシーズン使う制服で、ジャケット、スラックス、スカート、キュロットになり、ジャケットについては全員同じものを使用することになりますが、下に着るものは、スラックス・スカート・キュロットから選べるように設定しております。制服Ⅱ型については、夏用ポロシャツを採用ということで、性別にかかわらず着用できるものとする、色は白色で方向性が決まったところです。販売予定金額についてはこれから業者審査を行うのですが、これまでの販売総金額を上回らない設定で進めていきたいと考えております。１０月２６日に業者に公募を行います。１２月２６日にプロポーザルによる審査で業者選定の審査会を行います。それに基づいて業者決定をし、令和６年１月から２月にかけて最終的な制服の微調整を行い、最終決定する予定です。令和６年５月に制服の完成品を公表し、各小中学校で展示を行い、令和７年４月から新しい制服の導入を開始する流れ

で進めて行こうと考えております。現在使用している制服と新しい制服の着用ルールなどについては、令和6年度に協議していき、それにより校則の変更等も出てくるかと思えます。町のホームページにも制服だよりを公開して、町民の方々に広く周知していきたいと思えます。

教育長        昨年度から進めている制服検討委員会ですが、方向性がみえてきたところでは、ご質問等はありませんでしょうか。ないようですので、これで定例教育委員会を終わります。

(閉会午後4時10分)